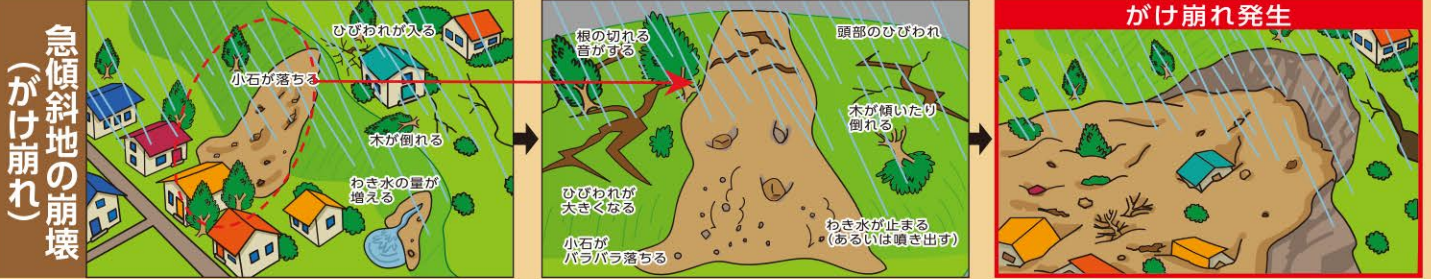


# 土砂災害対策

土砂災害警戒情報や大雨洪水警戒情報が発表されていなくても、普段と異なる状況「土砂災害や大雨洪水の前兆」に気付いた場合には、直ちに周りの人と安全な場所へ避難してください。日ごろから危険箇所、避難場所、避難経路を確認しておくことも重要です。

## 土砂災害の種類

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。



山腹・川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速 20~40km という速度で一瞬のうちに人家や畑などに被害が発生します。



斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に地面が大きなかたまりのまま動くため、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。



※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるといったものではありません。ふだんと違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

## 土砂災害の危険箇所について

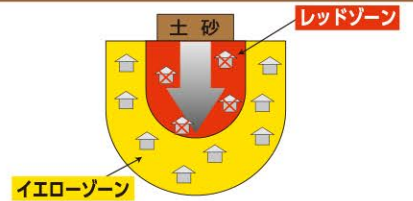
土砂災害防止法に基づき埼玉県が計画的に基礎調査を実施し、「土砂災害特別警戒区域」と「土砂災害警戒区域」の指定及び見直しを行っています。

**土砂災害 特別警戒区域(レッドゾーン)**

建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域

**土砂災害 警戒区域(イエローゾーン)**

土砂災害のおそれがある区域



## 土砂災害の予防策

- ◎日頃から避難する場所や道路などを確認しておきましょう。
- ◎所有地内にがけがある方は、がけの周辺を見回り、次のようなことを心がけましょう。



### とっさの避難!

がけの近くの家にいる場合は、できるだけがけから離れた部屋へすぐに移動!

